

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第51週の発生動向

全数報告の感染症 (51 週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 6 例。3 類感染症：報告なし。

4 類感染症：つつが虫病 3 例。5 類感染症：急性脳炎 1 例、侵襲性髄膜炎菌感染症 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等	
2類	結核	宮崎市	70 歳代	女	無症状病原体保有者	—	
			80 歳代	男	肺結核	症状なし	
			80 歳代	男	肺結核	症状なし	
			90 歳代	女	肺結核	咳、痰、発熱	
			都城	70 歳代	男	肺結核	発熱
			日向	50 歳代	女	疑似症患者	咳、痰
4類	つつが虫病	都城	60 歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹	
			日南	60 歳代	男	—	発熱、刺し口
			60 歳代	男	—	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹	
5類	急性脳炎	宮崎市	0~4歳	女	病原体不明(検査中)	発熱、痙攣、意識障害	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	宮崎市	60 歳代	男	—	発熱、菌血症、関節炎	

定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 850 人 (定点当たり 26.5) で、前週比 96% とほぼ横ばいであった。前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱と流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患は感染性胃腸炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

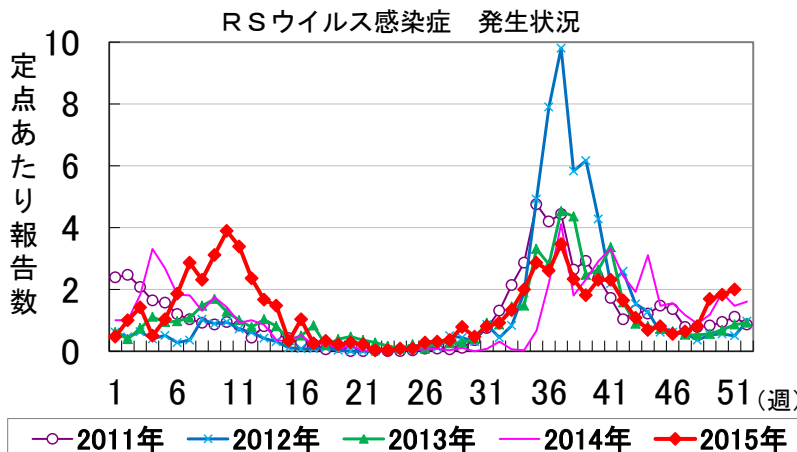
【インフルエンザ】

・報告数は 2 人 (0.03) で、前週比 29% と減少した。
(流行開始の目安：定点当たり 1.0)

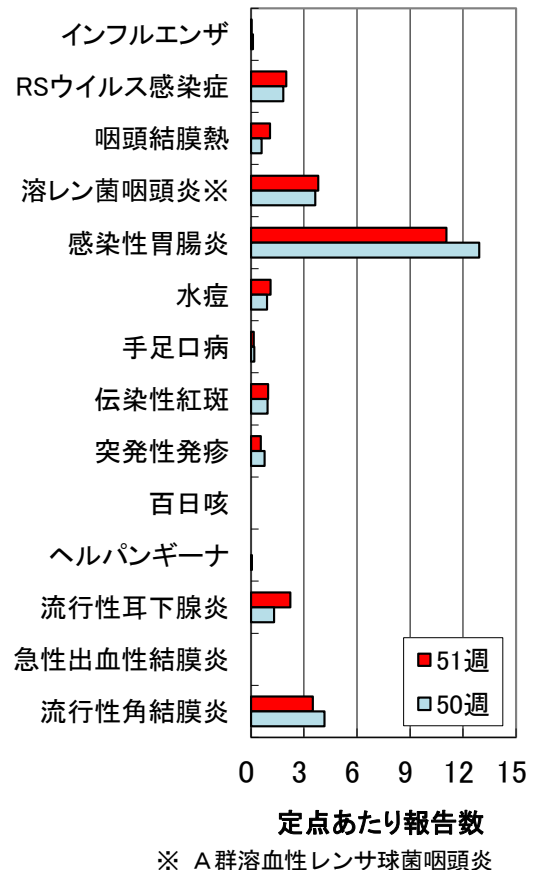
【RSウイルス感染症】

・報告数は 72 人 (2.0) で、前週比 109% とやや増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (1.3) の約 1.5 倍であった。年齢別では 1 歳が全体の約 4 割を占めた。

*過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値。



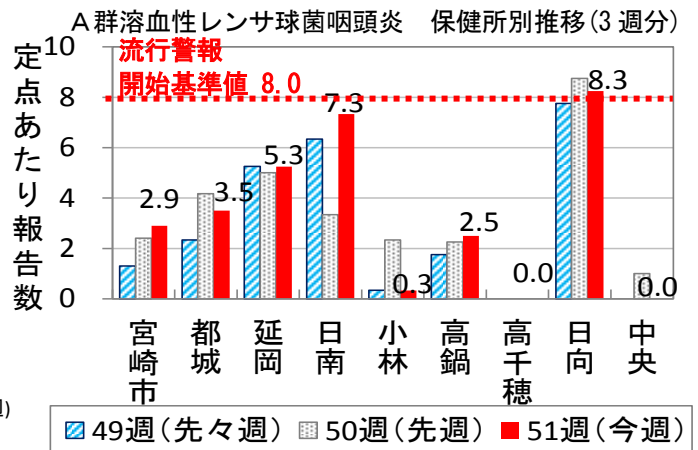
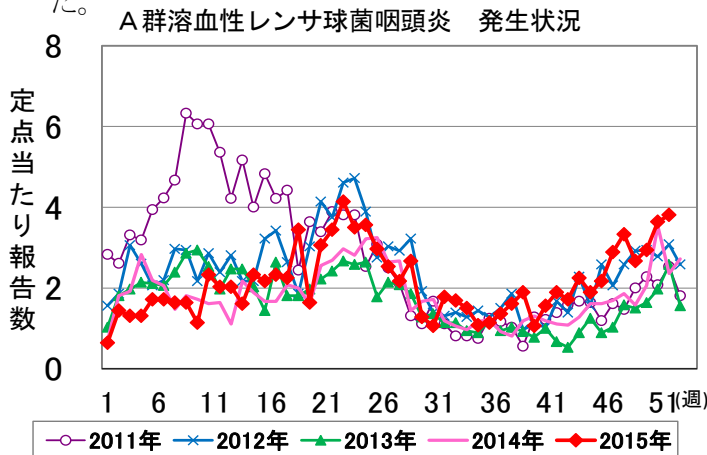
《前週との比較》



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

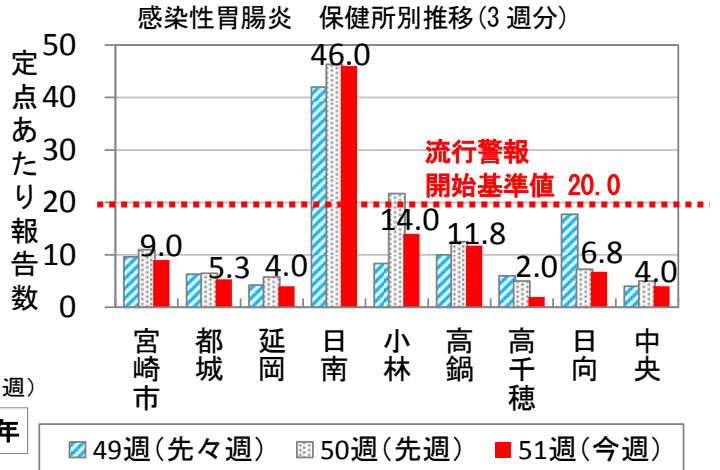
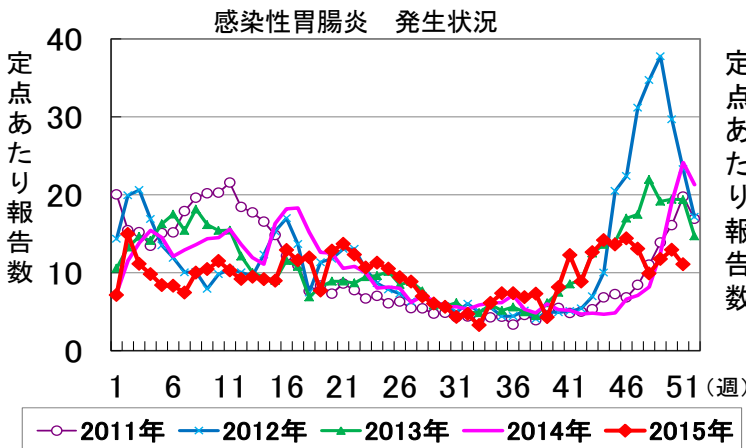
【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

・報告数は 137 人 (3.8) で、前週比 105%とやや増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(2.6)の約 1.4 倍であった。日向(8.3)保健所からの報告が多く、年齢別では3~5歳が全体の約4割を占めた。



【感染性胃腸炎】

・報告数は 398 人 (11.1) で、前週比 86%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*(21.5)の約 0.5 倍であった。日南(46.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1~4歳が全体の約半数を占めた。

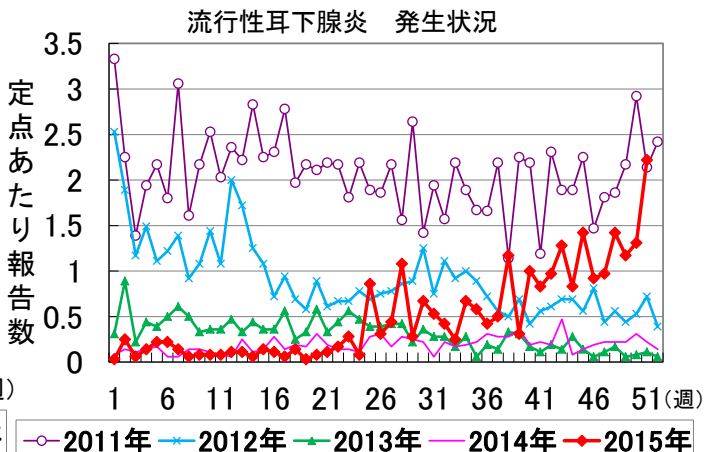
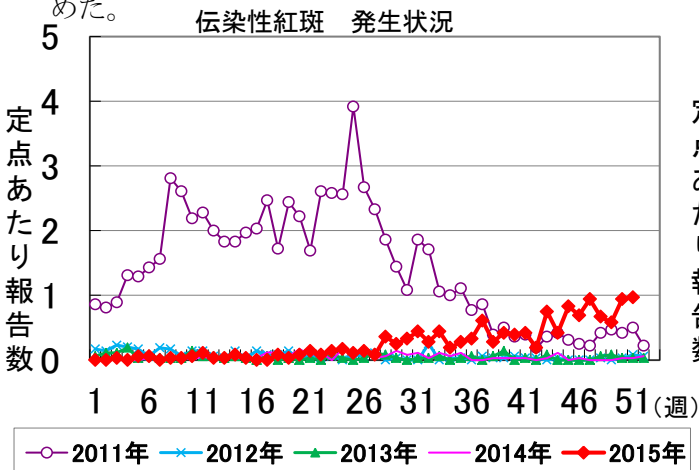


【伝染性紅斑】

・報告数は 35 人 (0.97) で、前週比 103%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点あたり平均値*(0.27)の約 3.6 倍であった。宮崎市(2.1)保健所からの報告が多く、年齢別では3~6歳が全体の約6割を占めた。

【流行性耳下腺炎】

・報告数は 80 人 (2.2) で、前週比 170%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(1.2)の約 1.9 倍であった。延岡(8.8)、日向(6.5)保健所からの報告が多く、年齢別では3~5歳が全体の約半数を占めた。



★基幹定点からの報告★
報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	伝染性紅斑(2.1)
都城	なし
延岡	流行性耳下腺炎(8.8)
日南	感染性胃腸炎(46.0)
小林	流行性耳下腺炎(4.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.3)、 流行性耳下腺炎(6.5)
中央	なし

* 流行警報レベル開始基準値 *

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・伝染性紅斑(2.0)
- ・流行性耳下腺炎(6.0)

* 流行注意報レベル基準値 *

- ・流行性耳下腺炎(3.0)

📊 全国第 50 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 50 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	341 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	30 例		
4類感染症	E型肝炎	4 例	A型肝炎	4 例	エキノコックス症	2 例
	重症熱性血小板減少症候群	1 例	つつが虫病	35 例	デング熱	4 例
	日本紅斑熱	9 例	レジオネラ症	19 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	15 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	16 例
	急性脳炎	9 例	クリプトスポリジウム症	1 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4 例	後天性免疫不全症候群	13 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	6 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	45 例	水痘（入院例）	7 例
	梅毒	43 例	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例
	風しん	1 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 109%とやや増加した。前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザと咽頭結膜熱と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は手足口病であった。

R S ウイルス感染症の報告数 7,469 人(2.4)で前週比 102%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(1.5)の約 1.6 倍であった。香川県(8.2)、奈良県及び鳥取県(各 5.3)からの報告が多く、年齢別では 6 ヶ月～1 歳が全体の約半数を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 32,022 人(10.1)で前週比 117%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(14.7)の約 0.7 倍であった。大分県(24.3)、兵庫県(14.9)、愛媛県(14.7)からの報告が多く、年齢別では 1～4 歳が全体の約半数を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2015年 第51週(12月14日～12月20日)

疾病名		第50週	第51週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	7	2			1						1
	定点あたり	0.12	0.03	0.00	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50
RSウイルス 感染症	報告数	66	72	29	3	4	12		16		3	5
	定点あたり	1.83	2.00	2.90	0.50	1.00	4.00	0.00	4.00	0.00	0.75	5.00
咽頭結膜熱	報告数	22	39	5	11	7	6		2		8	
	定点あたり	0.61	1.08	0.50	1.83	1.75	2.00	0.00	0.50	0.00	2.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	131	137	29	21	21	22	1	10		33	
	定点あたり	3.64	3.81	2.90	3.50	5.25	7.33	0.33	2.50	0.00	8.25	0.00
感染性胃腸炎	報告数	465	398	90	32	16	138	42	47	2	27	4
	定点あたり	12.92	11.06	9.00	5.33	4.00	46.00	14.00	11.75	2.00	6.75	4.00
水痘	報告数	33	40	16	2	4	2	1	4		8	3
	定点あたり	0.92	1.11	1.60	0.33	1.00	0.67	0.33	1.00	0.00	2.00	3.00
手足口病	報告数	7	6	2		4						
	定点あたり	0.19	0.17	0.20	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	34	35	21	4	5		2	3			
	定点あたり	0.94	0.97	2.10	0.67	1.25	0.00	0.67	0.75	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	28	20	6	4	4	1	1	3		1	
	定点あたり	0.78	0.56	0.60	0.67	1.00	0.33	0.33	0.75	0.00	0.25	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	2										
	定点あたり	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	47	80		7	35		12			26	
	定点あたり	1.31	2.22	0.00	1.17	8.75	0.00	4.00	0.00	0.00	6.50	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	25	21	14	4	3						
	定点あたり	4.17	3.50	4.67	2.00	3.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2015年第1週～51週)

2類感染症	結核	209例(6)					
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	111例					
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	9例	
	つつが虫病	48例(3)	デング熱	1例	日本紅斑熱	9例	
	マラリア	1例	レジオネラ症	5例	レプトスピラ症	1例	
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	5例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	4例	
	急性脳炎	5例(1)	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例	
	後天性免疫不全症候群	15例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1例(1)	
	侵襲性肺炎球菌感染症	6例	水痘(入院例)	2例	梅毒	4例	
	播種性クリプトコックス症	3例	破傷風	8例			

()内は今週届出分、再掲